

2021年度事業報告書

公益財団法人 日中友好会館

目次

〔Ⅰ〕 公益目的事業		
(公1) 青少年交流・教育交流事業	：総合交流部	3
(公2) 寄宿舍施設の運営	：留学生事業部	11
(公3) 中国語及び日本語教育	：日中学院	15
(公4) 文化事業	：文化事業部	17
(公5) 植林・植樹事業	：総合交流部	20
〔Ⅱ〕 収益事業		25
〔Ⅲ〕 その他の事業	会員相互友好事業：日中友好後楽会	28
〔Ⅳ〕 法人の状況		30

〔I〕公益目的事業

(公1) 青少年交流・教育交流事業 : 総合交流部

2021年度は、中国を対象に、外務省の推進する対日理解促進交流プログラム「JENESYS2020」及び「JENESYS2021」にて、年間を通じオンライン交流を実施。プレ・プログラム（招へい・派遣の事前学習）として12回、招へいを前提としないオンライン交流として10回実施し、中国側のべ447名（実質346名）、日本側のべ321名（実質310名）が参加した。当初計画していた年間490名（「JENESYS2020」で180名、「JENESYS2021」で310名）の中国青少年の招へいは、長引くコロナ禍下で全て実施できなかった。

オンライン交流は、中国の高校生・大学生・社会人青年を対象として、日本の同世代・同分野の青少年との間で実施した。

高校生のオンライン交流は主に学校単位で実施、学校生活・部活動や事前に設定したテーマについて動画等を用いた紹介やグループ交流を行った。国際交流の機会が限られている中で、画面越しではあるものの貴重な直接交流の機会となった。

大学生を対象とした交流では、共通の関心事項である「理想の働き方」について英語でディスカッションを行い、また、「環境保護」、「ボランティア」をテーマにした交流では、実際にその分野で活動している学生を参加対象として実施するなど、各々の関心分野を通じた日本理解と日中大学生どうしの相互理解に繋げることができた。更に、「日中の伝統的ファッション」をテーマに、事前に作品を募集し、大人数が参加可能なイベント型の事業も行った。

社会人青年を対象とした交流では、研究者、教育関係者、農村青年幹部など、特定の分野の青年どうしで、テーマを絞り、意見交換を行った。

なお、プレ・プログラムについては、終了後から実際の訪日までの間に日本に対する関心を維持できるよう、中国側参加者に対し E-mail のメールマガジン形式により、プレ・プログラムの振り返りや、テーマに関する情報、日本の地域・文化に関する情報等を発信した（プレ・プログラム終了後、1カ月に1回を目安に、計3回実施）。

また、モンゴルを対象とし、「JENESYS2020」で6件、「JENESYS2021」で5件のオンライン交流を実施した。

なお、外務省は2020年の特殊事情を考慮し、「JENESYS2020」の実施期間を2021年9月まで半年間延長していたが、最終的に2022年3月まで延長した。

1. 対日理解促進交流プログラム「JENESYS2020」(対象国・中国)

オンライン交流を合計 15 回実施し、中国側のべ 339 名（実質 248 名）、日本側のべ 233 名（222 名）が交流に参加した。明細は下記のとおり。

【訪日団プレ・プログラム】 9 回

【訪中団プレ・プログラム】 1 回

【オンライン交流】 5 回

※以下、交流名の後ろに★印がついているものは、「プレ・プログラム」として実施。

(1) 日中高校生オンライン交流

	実施日	参加人数		参加者・交流先の構成、テーマ	共催機関
		中国側	日本側		
神奈川県 －陝西省	12 月 10 日	23	11	西安中学、略陽県天津高級中学の高校生 ／神奈川県立平塚江南高等学校の高校生 『伝統文化』	中国教育部 (中国教育 国際交流協 会)
	12 月 20 日	10	11	略陽県天津高級中学の高校生 ／神奈川県立平塚江南高等学校の高校生 『伝統文化』	
京都府 －陝西省	2022 年 1 月 14 日	20	21	西安外国語大学附属西安外国語学校の高校生 ／京都府立北稜高等学校の高校生 『食文化』*中国側企画	
東京都 －江西省	2022 年 1 月 17 日	20	29	九江市同文中学の高校生 ／東京学芸大学附属高等学校の高校生 『オリンピック』*中国側企画	

日中高校生が、それぞれの学校や地域について紹介し、テーマに関する発表やパフォーマンス披露等を行った。グループに分かれての交流では、自己紹介や学校生活の紹介、テーマに関する紹介をした。神奈川県－陝西省の交流は日中友好会館が企画、京都府－陝西省、東京都－江西省の交流は、中国教育国際交流協会が企画し、それぞれがホストとなって実施した。

この他、大阪府と陝西省の高校生の交流を予定していたが、中国側の都合により延期し、年度内に日程の再調整ができなかったため今年度は中止となった。

(2) 日中大学生オンライン交流 ★

	実施日	参加人数		参加者・交流先の構成、テーマ	協力機関
		中国側	日本側		
第1回	6月11日	20	18	陝西省、湖南省の大学生／ 上智大学、中央大学、法政大学の大学生 講評：阿古智子 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 教授 『私の理想の働き方』	中日友好協会
第2回	10月28日	20	19	四川省、重慶市の大学生／ 国際基督教大学、横浜市立大学、立教大学の大学生 講師：跡部千慧 立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科 助教 『私の理想の働き方』	中日友好協会

参加学生は、事前に52項目の働き方に関するキーワードの中から自身が重視する5項目を選んでおき、当日は、日中混合の5グループに分かれて「私の理想の働き方」をテーマに英語でディスカッションを行った。話題はジェンダー問題や日中の文化的・教育的背景にまで及び、仕事を通じた社会貢献や挑戦といった日中の共通点や仕事以外の価値観等について活発な議論を行った後、各グループの代表者がディスカッションの成果を発表した。発表の後には、講師より、交流の振り返りを行った。

また、第2回の交流時の様子は、短い動画に編集し、日中友好会館のYouTubeチャンネルで公開した。

(3) 日中大学生古装ファッション交流

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成、テーマ	共催機関
	中国側	日本側		
2022年 3月10日	43	46	中国全土（一部青年を含む）／ 日本全国（専門学校生含む） 古装ファッションコンテスト	中国国際青年交流 中心

「日・中の伝統的な要素を取り入れたファッション」をテーマにしたコンテスト形式でのオンライン交流。「日本・中国の伝統衣装」をモチーフにした服装・コーディネート写真を公募し、交流当日は、全82作品の中から事前審査で入賞した日中12名の参加者がプレゼンテーションを行った。質疑応答等で傍聴者とも交流し、日中各2名の審査員と傍聴者による投票で、上位入賞者を決定した。

(4) 中国社会科学院青年研究者代表団オンライン交流 ★

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成、テーマ	協力機関
	中国側	日本側		
4月26日	7	1	中国社会科学院に所属する若手研究者／ 池内幸司 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授 『防災・減災』	中国社会科学院

日本側から「水関連災害の防災・減災対策」について講演した後、中国側からは「中国の危機管理 70 年:防災減災から強靱化整備まで」をテーマに発表。その後意見交換を行い、互いの防災対策への理解を深めた。

(5) 日中青年研究者オンライン交流 ★

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成、テーマ	共催機関
	中国側	日本側		
6月29日	8	6	日本の大学・研究機関に所属する青年研究者／中国社会科学院日本研究所の青年研究者 『新情勢における日中協力の潜在力』	中国社会科学院 日本研究所

日本青年研究者訪中団のプレ・プログラムとして実施。中国社会科学院の呼びかけにより、「新情勢における日中協力の潜在力」をテーマに、分野別に「中日文化と人的交流」「経済と社会分野の協力」「特定分野の協調合作」の3つのセッションのもと、参加者それぞれが自身の専門分野の視点から発表を行った。内容は、政治・経済・社会・文化・歴史分野の他、気候変動や医療、図書館運営に関するものなど多岐にわたった。

(6) 2021 年度中国青年公益事業交流団オンライン交流 ★

テーマ	実施日	参加人数		参加者・交流先の構成	共催機関
		中国側	日本側		
スポーツ	2022年 1月18日	30	22	<交流> 公益事業・ボランティアに従事する大学生等（北京冬季オリンピック・パラリンピック大会ボランティアを含む） ／(一財)日本財団ボランティアサポートセンター職員、東京オリンピック・パラリンピック大会ボランティア経験者	中国宋慶齡基金会
	2022年	26	1	<セミナー>	

	1月21日			<p>公益事業・ボランティアに従事する大学生等（北京冬季オリンピック・パラリンピック大会ボランティアを含む）</p> <p>講師：森田なつき スポーツ庁健康スポーツ課 専門職</p>
環境保護	2022年 2月21日	32	1	<p><セミナー></p> <p>環境問題に関心のある公益事業・ボランティアに従事する大学生</p> <p>講師：井上直己 環境省地球環境局 国際地球温暖化対策担当参事官補佐</p>
	2022年 2月28日	31	27	<p><交流></p> <p>環境問題に関心のある公益事業・ボランティアに従事する大学生／ 環境問題に関心のある日本大学生（全国4大学）</p>
ボランティア	2022年 3月23日	25	19	<p><交流></p> <p>子どもを対象としたボランティア活動に参加する大学生等／ 富岡克之（公財）よこはまユース 横浜市青少年育成センター センター長、子どもを対象としたボランティアに参加する日本大学生（全国9大学）</p>
	2022年 3月25日	24	1	<p><セミナー></p> <p>子どもを対象としたボランティア活動に参加する大学生</p> <p>講師：野尻紀恵 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科教授</p>

中国の政府機関や企業、大学で公益事業・ボランティアに従事する青年が、テーマ別に日本の同分野の関係者とオンラインで交流活動を行った。

「スポーツ」は、スポーツ推進に関する取り組みやスポーツボランティア（東京オリンピック・パラリンピックのボランティア経験）等について、「環境保護」は、世界の共通課題である気候変動やSDGsへの取り組み等について、「ボランティア」は、日本のボランティア事情、とりわけ子どもを対象としたボランティア活動等について、各2回、セミナーの受講や日本の関係者との意見交換等を通じ、同分野への理解を深めた。

2. 対日理解促進交流プログラム「JENESYS2021」（対象国・中国）

オンライン交流を合計7回実施し、中国側のべ108名（実質98名）、日本側88名が交流に参加した。明細は下記のとおり。

【訪日団プレ・プログラム】 2回

【オンライン交流】 5回

※以下、交流名の後ろに★印がついているものは、「プレ・プログラム」として実施。

（1）日中高校生オンライン交流（テーマ：芸術）～第14回アジア国際子ども映画祭～

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成、テーマ	共催機関（協力機関）
	中国側	日本側		
2022年 3月8日、 3月9日	10	—	<第14回アジア国際子ども映画祭> 北京師範大学附属実験中学の高校生 他、14か国・地域の高校生	中国教育部 (映画祭の実施は（一財）日本国際協力センターが担当)
2022年 3月15日	10	10	<学校交流> 北京師範大学附属実験中学の高校生 ／成進高等学校の高校生 『芸術』	

昨年度は中止となっていた「アジア国際子ども映画祭」を、初のオンラインで実施した。今年度は新たな作品の募集は行わず、1日目は映画祭の紹介、過去作品の鑑賞・意見交換等を行い、2日目は訪問予定地域であった南あわじ市の地域理解講義や交流を行った。

学校交流では、動画を用いて互いの学校や地域の紹介を行ったほか、グループ交流、部活動紹介等を行った。

（2）日本・香港高校生オンライン交流

	実施日	参加人数		参加者・交流先の構成	協力機関
		香港側	日本側		
第1回	12月16日	20	19	保良局羅傑承（一九八三）中学の高校生・中学生／ 熊本県立天草工業高等学校の高校生	香港特別行政区 政府教育局
第2回	12月21日	35	35	順徳聯誼總會翁祐中学の高校生／ 熊本県立東稜高等学校の高校生	

香港高校生からは、香港の文化や教育制度について、日本高校生からは熊本県の文化や名所について紹介したほか、互いの高校生活についても紹介し合った。グループ交流では、事前に決めた互いの高校に関する「授業」「部活動」等のテーマに基づき発表し、質問し合った。フリートークでは、双方の学校生活の違い等の話題で盛り上がった。

(3) 第4回日中大学生対話（オンライン交流）

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成、テーマ	協力機関
	中国側	日本側		
2022年 3月9日	14	12	安徽省の大学生／ 日本大学生（全国12大学） ①『Z世代は日中両国において、どのような変化をもたらしたのか、もたらし得るのか』 ②『日中両国の介護事情と若者の介護意識』 ③『日中両国の文化的魅力を世界に届けるために何が必要か』	中日友好協会

Z世代の特徴やメリット・デメリット、両国の介護事情や介護に対する考え方、日中の文化の魅力や発信方法など、日中混合の3グループがそれぞれグループテーマについて、率直に意見を出し合った。懇談後、各グループから懇談の成果が発表され、その後の質疑応答・意見交換では、他のグループのテーマや発表内容に対し、多くの質問があがった。

(4) 中国農村青年幹部オンライン交流 ★

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成、テーマ	協力機関
	中国側	日本側		
9月29日	12	6	河北省、北京市の農村青年幹部／ 広島県の農業関係者（世羅高原6次産業ネットワーク） 『六次産業』	中日友好協会

中国側から、中国農村の「一二三産業融合政策」への取り組みやインターネットを活用した農業の近代化について紹介があり、世羅高原6次産業ネットワークのメンバーは、六次産業化への取り組みや課題、成果、組織で活動することのメリットなどについて説明したほか、中国側から事前に提出された質問に回答した。

(5) 日中教育関係者オンライン交流 ★

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成、テーマ	協力機関
	中国側	日本側		
11月18日	7	6	四川省の教育研究機関職員、小・中・高校の教師／ 大阪府教育庁の小・中・高校を担当する指導主事等 『アクティブ・ラーニング』	中日友好協会

児童・生徒自身にとって自ら学び、問題を解決しようとする力を育むという視点から重視・応用されている「アクティブ・ラーニング」について、日中双方の代表から自国内における概況や取り組み状況について発表、その後、参加者が自身の取り組み事例等を紹介しあい、意見交換を行った。

3. その他フォローアップ

(1) 日中青少年交流事業「参加者のその後のストーリー」

実施日	参加者・実施内容等	協力機関
4月1日～ (ホームページ公開日)	日中青少年交流事業の過去の参加者が、訪日をきっかけに、その後どのように日本と関係を保ち、どのような未来を歩んでいるのか、メールまたは対面でインタビューを実施した。前年度に引き続き、会館ホームページ及び会館だよりに掲載。(第12回～第14回)	中日友好協会

前年度に引き続き、過去に実施した日中青少年交流事業参加者のその後（現在）の様子を紹介し、事業の効果をPRすることを目的として実施した。さまざまな好事例を収集・発信することができた。2021年度は、訪中団の参加者（日本人参加者）の事例も掲載した。

4. 対日理解促進交流プログラム「JENESYS2020」「JENESYS2021」 (対象国：モンゴル)

「JENESYS2020」では、モンゴルの高校生・大学生・社会人を対象に日本の同世代との交流や日本文化体験等を計6件オンラインで行った（(株)JT Bに委託して実施）。

「JENESYS2021」では、モンゴルの高校生・大学生を対象に日本の同世代との交流や日本理解講義、ホームビジットや浄瑠璃体験等の日本文化体験を計5件オンラインで行った（(一財)日本国際協力センターに委託して実施）。

(公2) 寄宿舍施設の運営 : 留学生事業部

中国留学生・研究員の受入事業用施設として「後楽寮」及び「後楽寮研修棟」がある。「後楽寮」には203室(1階～3階)、「後楽寮研修棟」には34室(後楽ガーデンホテル2、3階)がある。

1. 後楽寮入退寮状況

(1) 資格区分別入退寮者数

	2021年4月1日 時点の在寮生数	2021年度		2022年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	83	12	50	45
単位公派	4	1	3	2
自費学生	11	8	7	12
華僑学生	1	2	1	2
合計	99	23	61	61

* 国家公派とは中国教育部の派遣留学生・研究員

* 単位公派とは地方政府機関、大学、研究所の派遣留学生・研究員

* 自費学生は大学院正規課程生(修士課程・博士課程)

(2) 男女別入退寮者数

	2021年4月1日 時点の在寮生数	2021年度		2022年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男子	54	11	35	30
女子	45	12	26	31
合計	99	23	61	61

2. 後楽寮研修棟入退寮状況

(1) 資格区分別入退寮者数

	2021年4月1日 時点の在寮生数	2021年度		2022年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	1	0	1	0
単位公派	0	0	0	0
合計	1	0	1	0

* 国家公派とは中国教育部の派遣留学生・研究員

* 単位公派とは地方政府機関、大学、研究所の派遣留学生・研究員

(2) 男女別入退寮者数

	2021年4月1日 時点の在寮生数	2021年度		2022年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男子	0	0	0	0
女子	1	0	1	0
合計	1	0	1	0

3. 開館以来の入退寮状況

「後楽寮」は1985年4月に、また「後楽寮研修棟」は1988年4月に開設された。それぞれ満36年および33年が経過したが、その間の入退寮者の総数「2022年3月末現在」は下記表の通り。後楽寮を退寮された寮生は工学、医療、文化などの各方面にて活躍中。2021年度は新型コロナウイルス感染拡大より、入国制限がかかった影響で年間の入寮生数は23名に留まった。

	入寮数	退寮数
後 楽 寮	4,164	4,104
後楽寮研修棟	1,081	1,080
合計(人)	5,245	5,184

4. 後楽寮修繕・改修工事

(1) 主な修繕・改修工事

- ・後楽寮1階排煙窓修理(7月)
- ・後楽寮B1ダムウェーター入口扉の防犯センサー取換工事(7月)
- ・後楽寮B1共用部、居室(153号室)感知器交換(8月)
- ・後楽寮厨房、炊飯器不良のため1台新規購入(8月)
- ・ゴミ庫入口鉄扉改修工事(9月)
- ・電気設備(コンデンサ)更新工事(11月)
- ・居室交換用網戸(3枚)購入(1月)
- ・防犯カメラ移設工事(1月)
- ・屋外扉(非常扉)サムターン取付工事(1月)

(2) 寮内環境改善工事

- ・寮1階給湯室混合栓改修工事(9月)
- ・後楽寮2階電子レンジ不良のため新規購入(7月)
- ・中庭ネズミ防除(2、3、4月)

(3) 定期点検

- ・後楽寮電気設備年次点検（11月）
- ・後楽寮・後楽寮研修棟消防点検（年2回：6、12月）
- ・受付前自動ドア定期点検（年3回：4、8、12月）
- ・後楽寮 B1 ダムウォーター点検（年4回：4、7、10、1月）

(4) 定期清掃

- ・共用部照明器具清掃（10月）
- ・非常放送ボックス・消火栓ボックス清掃（10月）
- ・後楽寮避難通路中庭清掃（12月）
- ・後楽寮 B1 厨房グリストラップ交換、汚水・雑排水槽清掃（2月）
- ・後楽寮 B1 厨房排気ダクト清掃（3月）
- ・粗大ごみ処分（3月）
- ・中庭植栽剪定（3月）
- ・後楽寮・後楽寮研修棟居室、後楽寮 B1 厨房消毒（年3回：2、5、9月）
- ・後楽寮居室フィルター交換（年2回：4、10月）
- ・後楽寮研修棟フィルター交換（年4回：6、9、12、3月）
- ・窓ガラス清掃（年3回：6、10、2月）
- ・後楽寮 B1 ワックス清掃（年2回：9、2月）
- ・後楽寮 B1 厨房グリスフィルター交換清掃（月1回）
- ・後楽寮居室シーツ交換（月2回：第2、第4木曜日）
- ・後楽寮給湯室・トイレ・シャワー室等共用部清掃（週5日）

5. 活動実績

(1) 寮内行事

後楽寮の2大祝賀会“国慶節”“春節”は後楽寮の自治組織である寮生委員会主催による行事。本年度は9月に国慶節祝賀会を新型コロナウイルス感染防止のため、無観客で行い、寮生のパフォーマンスなどを収録。後日ネット配信するなど昨年と同じ形で実施し、10月に鑑賞会を兼ねた国慶節座談会を行った。2月の春節祝賀会はコロナ感染第六波のため開催を見送った。

新入寮生懇親会は4月と12月の2回開催。毎回会館役職員と新入寮生で懇親会を行うが、4月は新型コロナウイルス感染防止のため懇親会は行わず、「新入寮生歓迎・説明会」と名前を変更して開催、12月は通常通り懇親会を行った。

緊急事態宣言が解除された10月には寮生委員会主催で卓球やビリヤードなどスポーツ大会が行われた。

(2) 寮外行事

本年度に予定していた各区日中友好協会との交流会、長野県日中友好協会・日中加須市民会議とのホームステイ、藤沢市観光協会主催の体験交流会、毎年参加している文京区国際交流フェスタ、留学生事業部主催のスキー体験教室など、後楽寮ならではの交流会・見学会・体験教室は新型コロナウイルス感染拡大の影響によりすべて中止。

昨年3月実施予定が延期となっていた文京区との交流事業「中国伝統芸能セミナー」を3月12日に開催。元寮生の王文強氏による講演と変面などのパフォーマンスを文京区民が観覧した。

(3) 後楽会（中国）友好联谊会

設立10周年を迎えた後楽会（中国）友好联谊会も本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で会の活動と毎年11月に行っている年次総会は中止。

(公3) 中国語及び日本語教育 : 日中学院

1. 全体の活動状況

入学式 (4月5日)

授業開始 (別科: 4月8日 / 本科研究科: 4月10日 / 本科・日本語科: 4月12日)

卒業式 (2022年3月15日)

学院報 547~550号 (3ヶ月毎の季刊号)

2. 学科状況

本年度、日中学院の在籍者数

	定員	2022年3月	2021年3月	2020年3月
本科 1年	40 (2)	11 (1)	14 (1)	14 (1)
本科 2年	40 (2)	9 (1)	10 (1)	13 (1)
本科 研究科	20 (1)	2 (1)	4 (1)	2 (1)
日本語科 1年	40 (2)	0 (—)	0 (—)	19 (1)
日本語科 2年	40 (2)	0 (—)	18 (1)	17 (1)
日本語科 10月生1年	20 (1)	0 (—)	14 (1)	6 (1)
日本語科 10月生2年	—	12 (1)	5 (1)	18 (1)
日本語科 3年	20 (1)	10 (1)	—	—
別科 夜間講座		92	71	111
別科 昼間講座	—	239	228	360
別科 文化講座	—	8	9	12
合計		383	373	572

※ () はクラス数

3. 各科活動状況

(1) 本科

①2021年度卒業生数 本科 8名 研究科 2名

②2021年度の主な行事

日本語科との合同合宿 (中止)、本科2年・日本語科と小石川後樂園にて交流 (6月25日)、本科1年朗読大会 (7月2日)、映画「一秒先の彼女」鑑賞 (7月8日)、文化祭 (10月30日)、本科・日本語科合同隅田川川下りと公園散策 (12月10日)、映画「安魂」鑑賞 (1月27日)、合同スピーチ大会 (2月9日)

③公開講座 8月28日、11月13日、1月29日にオンラインにて実施

④中国短期研修 中止 (派遣先: 中国人民大学)

⑤進路指導

- ・進路懇談会 中止
- ・本科2年及び研究科個人面談 9月2日、3日

(2) 別科（付帯教育）

- ①公開無料講座 年間17回（21クラス）開講
- ②朗読大会 中止
- ③日本語科留学生との昼食交流会 中止
- ④短期留学 中止（派遣先：天津外国語大学）

(3) 日本語科（専門課程）

- ①2021年度卒業生数 12名
- ②2021年度の主な行事
本科との合同合宿（中止）、別科昼食会（中止）、本科2年・日本語科と小石川後樂園にて交流（6月25日）、ホームステイ（中止）、文化祭（10月30日）、染物体験（11月24日）、本科・日本語科合同隅田川川下りと公園散策（12月10日）、国会議事堂見学（1月19日）、映画「安魂」鑑賞（1月27日）、春節パーティ（中止）、合同スピーチ大会（2月9日）
- ③進路指導
進学説明会（7月1日）、2年個人面接（7月30日、11月26日、3月4日）

4. 日中学院評議会

開催日時	場所	議事事項
第41回 2022年2月17日（木） 午後1時15分～2時20分	日中友好会館 2階会長室	〔議事〕 ① 2021年度活動及び今後の取り組みについて ② 2022年度予算に関する報告 ③ 非常勤講師就業規則改定に関する報告

(公4) 文化事業 : 文化事業部

《2021年度の文化事業》

主催事業：合計2件、会館美術館での貸美術館催事：合計3件

1. 主催事業 (2021年4月～2022年3月)

(1) 第31回中国文化之日主催展「Chinese Shadow Puppets 陝西皮影の世界」

会期：2021年9月17日(金)～11月7日(日)

来場者数：3,287人(45日間・1日あたり73人)

第31回中国文化之日の主催展は「Chinese Shadow Puppets 陝西皮影の世界」と題し、中国の影絵芝居で使用する人形「皮影(ピーイン)」にフォーカスし、中でもその精緻な美しさと芸術性の高さから中国皮影の逸品と称される「陝西皮影」を展示紹介した。

本展では作品を展示するだけでなく、ミニシアターや操演体験コーナーを常設し、影絵芝居の独特の世界観や皮影がどのように動くかなど多角的に伝えることができた。

会期中には、新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと取りながら、影絵芝居(全4公演)、制作実演(全6回)、ミュージアムコンサート(全3回)、子供向け鑑賞会、館内レストラン「馥」とコラボで陝西グルメフェア等、多様なイベントを開催し、いずれも大変好評であった。

NHKやCCTVなど、日中両国の主要メディアにも取り上げられ、催事の周知や会館のプレゼンス向上につながった。

アンケート調査では展覧会の感想として「良かった」が94.4%、「まあまあ良かった」が5.6%(合計100%)で来館者の満足度が安定して高かったことが分かった。

来場者アンケートには以下の声が寄せられた(一部抜粋)。

- ・精巧な手工芸の生み出す世界にうっとりした。
- ・展示の仕方がよく工夫されていて感心した。実際に観に行きたくなった。
- ・体験コーナーや上映もあってわかりやすい。地方グルメも楽しみ。
- ・制作実演と公演もとても楽しかった。
- ・皮影も陝西省も知らなかったが今回の展示を拝見し大変興味を持った。ぜひ陝西省に行き、本場の皮影を見てみたい。
- ・後樂園の帰りに偶然見かけて立ち寄ったが、気づいたら何十分も見ていた。
- ・子どもも楽しめた。また是非開催してほしい!

(2) 日中国交正常化 50 周年記念展 PART I 「～四季礼賛～ 故宮+IKEBANA」

会期：2022 年 3 月 1 日（火）～4 月 17 日（日）

来場者数：3377 人（42 日間・1 日あたり 80 人）

日中国交正常化 50 周年記念展の第一弾として、故宮博物院特別提供による故宮の四季を捉えた写真と、池坊華道会によるいけばなによる日中文化のコラボ展を開催した。

本展では、故宮の四季折々の美しさにフォーカスした。故宮が動植物、雨や雲、月といった自然万物と共に春夏秋冬の移ろいを重ねてゆく姿をダイナミックな大型写真パネル約 70 枚と大画面ムービーで紹介。故宮の写真を彩るのは、室町時代から続く「いけばなの根源」池坊プロデュースの華道男子グループ“IKENOBOYS”による新感覚の作品を含む、いけばなおよそ 15 点で、いけばなは、週ごとにテーマカラーや花器の材質を変えていけ替えを行い、来館するたびに新たな表情を見せる“変化する展覧会”に挑戦した結果、リピート来館者も多く獲得することができた。

また、会期中は「ミュージアムコンサート ～春礼賛～中国竹笛と三味線の共演」、「みんなでつくろう！ダイナミックいけばな」「いけばな体験教室」「IKENOBOYS パフォーマンスイベント」など多彩なイベントを開催し、展覧会と合わせて来場者から高い評価をいただいた。アンケート調査では、展覧会の印象として「良かった」「まあまあ良かった」が 100%を占めた。

来場者アンケートには以下の声が寄せられた(一部抜粋)。

- ・故宮の四季の写真と生け花が融合した素敵な雰囲気漂う展覧会でした。
- ・華やかで荘厳な宮殿と動植物の躍動感がよく合わさった素敵な写真展でした。写真と生花を重ねて観るとというのが斬新で、どの作品も調和感が素晴らしかったです。
- ・故宮の写真といけばなどが、うまく融合していて素敵でした。映像は 30 年ほど前に観光で訪れた景色を思い出しました。これからも友好が続いて行って欲しいです。
- ・四季を通じた写真が多数あり、楽しめました。日本に咲く花々がこれほどたくさん咲いていたんですね。故宮を通じて中国の姿を見せて貰いました。観光した気分です
- ・故宮のパネルとお花のコラボは戦争やコロナで気持ちが沈んでいる中に少し安らぎを与えてくれました。このような空間で世界を幸せに平和にして欲しいと思いました。

2. 貸美術館展覧会実績 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)

	展覧会名	会期	主催
1	「存在の情愫」——臧傑個展	2022 年 1 月 18 日～ 2022 年 1 月 21 日	臧傑（東京藝術大学博士）

2	日中魂の響き 2022 & 黄実作品展	2022年2月3日～ 2022年2月9日	(一社) 日本国際経済文化機構
3	道志展⇔同視点 日中美術大学 学生絵画展	2022年2月15日～ 2022年2月22日	道志展運営委員会

3. 文化事業の強化における取組み

(1) 職員研修

展覧会の充実に向けた職員のスキルアップ研修を企画・実施した。具体成果として、職員1名が「博物館学芸員」課程を受講し、資格取得することができた。また、職員3名がそれぞれ業務の合間に他の美術館の展覧会を見学し、情報共有を通じて主催展の展示などにいかすことができた。

(2) 美術館専用ホームページの開設

展覧会情報やイベントなどの情報をよりわかりやすく且つ広く周知するため、美術館専用ホームページの開設に向けて諸準備を進め、4月18日付でリリースされた。

日中友好会館美術館ホームページ：<https://jcfcmuseum.jp>

(公5) 植林・植樹事業 : 総合交流部

外務省の拠出(2016年3月)による「日中植林・植樹国際連帯事業」を実施。2021年度が実施2年目となる「中国における植林事業」及び「第三国での植林・植樹事業」では、令和2(2020)年度助成事業として助成を決定した15件のうち、事業中止・延期となった6件を除く、9件について事業を実施したほか、新たに2021年度助成事業として、14件に対し助成を決定した。また、会館が主体となり実施する事業として、2020年度に開始した中国での植林事業2件を実施、完了した。

なお、「日本国内での植樹と併せて行う日中両国の青少年等の交流事業」で計画していた1,160名の招へい事業(日中両国以外の第三国・地域の出身者の参加も含む)は、長引くコロナ禍で全て実施できなかったが、一部招へいの代替として、オンライン交流を4回実施した。

1. 中国における植林事業、及び第三国での植林・植樹事業

(1) 助成事業

日本のNGO等民間団体や日本の地方自治体が対象国内の団体と協力して実施する植林事業に対する助成事業。中国及び主に東南アジアを中心とする日中両国以外の国・地域(第三国)を対象とし、対象国内の砂漠化防止、水害防止、熱帯林再生、その他環境の保全・回復や防災等に資するような植林事業に助成する。助成対象には現地での植林活動への日本からの参加者の派遣を含む。

①令和2(2020)年度助成事業

令和2(2020)年度助成事業として2021年3月に助成を決定した15件(中国12件、第三国3件)について、対象国内の法令手続き上の理由や自然災害の影響等により、事業中止(中国4件)や実施期間延長(中国1件、第三国1件)となった6件を除く、9件(中国7件、第三国2件)について2022年3月までに事業を終了した(事業実施期間:2021年3月~2022年3月)。多くの事業において、新型コロナウイルス感染症の影響により技術者や植林ボランティアの派遣を行うことができず、事業計画の変更を余儀なくされた。

なお、事業を終了した9件については、2022年度中に実績報告書と精算書類を元に内容の精査を行い、本助成事業の成果が助成決定の内容に適合すると認めた場合、助成金を確定する。

②2021年度助成事業

2021年度助成事業は、2021年7月9日から9月10日の間に公募を行った結果、計18

件（中国 9 件、第三国 9 件）の応募があり、審査委員会による審査を経て、計 14 件（中国 7 件、第三国 7 件）に対し、総額 1 億 1,536 万 5 千円の助成を決定した（事業実施期間は 2022 年 1 月から 12 月までの 1 年間）。

助成団体及び助成金交付対象事業は以下のとおり。

【2021 年度日中植林・植樹国際連帯事業による助成事業】

	団体名	対象国	交付対象事業
1	一般社団法人 地球緑化クラブ	中国	第一期内モンゴル正藍旗ホンシャンダーク沙地における持続的砂漠緑化事業
2	認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク	中国	河北省張家口市蔚県における緑化協力事業
3	一般社団法人 日中国際交流協会	中国	2022 年度日中青年民勤県植樹植林国際提携プロジェクト
4	一般社団法人 日中国際交流協会	中国	2022 年度日中達拉特（ダラト）旗日中植樹造林機構合作事業
5	特定非営利活動法人 岡山市日中友好協会	中国	中国洛陽市新安県石井鎮生態防護林事業（2022 年度）
6	特定非営利活動法人 地球緑化センター	中国	内モンゴル自治区砂漠化防止事業
7	特定非営利活動法人 世界の砂漠を緑で包む会	中国	内モンゴル自治区アラシャン盟砂漠化防止事業（2022 年度）
8	特定非営利活動法人 イカオ・アコ	フィリピン	気候変動を抑止するマングローブ林の再生事業（2022 年）
9	特定非営利活動法人 ヒマラヤ保全協会	ネパール	ネパール西部ダウラギリ県での生活有用林再生の持続型アグロフォレストリー事業
10	特定非営利活動法人 環境修復保全機構	カンボジア	カンボジア国コンポンチャム州の農山村域における環境修復を目指した植林事業（フェーズ 2）
11	特定非営利活動法人 環境修復保全機構	カンボジア	カンボジア国トボンクムン州における森林環境教育を目指した学校環境緑化の推進

12	公益社団法人 日本マレーシア協会	マレーシア	マレーシア・サラワク州における地域住民主体の多様化森林造成事業
13	特定非営利活動法人 野生生物を調査研究する会	ブラジル	熱帯林保全のための植林事業
14	特定非営利活動法人 地球の友と歩む会	インドネシア	インドネシア東スンバ県マングローブ再生のための植林事業（第二期）

(2) 会館が主体となり実施する事業

中国における植林事業について、2020年度から実施してきた以下2事業は、当初の計画通り全作業を完了し、2021年12月末で終了した。

① 黒龍江省大慶市日中嫩江砂地防風固砂植林植樹事業

植林場所：大慶市讓胡路区銀浪造林地

植林面積：約80ヘクタール（1,200ムー）

中国側担当機関：中国国家林業・草原局対外協力プロジェクトセンター、
黒龍江省林業・草原局、
黒龍江省大慶市林業・草原局

<2021年度実施内容>

- ・植林地の植え付け、保育、補植作業を実施した。

（樹種：ハコヤナギ、モンゴルアカマツ）

- ・起工式の開催（4月27日）

在中国日本国大使館 七沢淳公使、在瀋陽日本国総領事館 久保田晃領事、中国国家林業・草原局 国際合作司 孟憲林司長や黒龍江省・大慶市関係者が参加し実施した。

- ・オンライン報告会（10月25日）

中国国家林業・草原局及び黒龍江省関係機関とオンライン会議を開催し、苗木の生育状況や保育作業の状況等、事業の実施状況について報告を受けるとともに意見交換を行った。

② 山東省荷澤市単県日中友好防砂治砂植林事業

植林場所：単県国有大砂河造林地と単県黄崗鎮

植林面積：約67ヘクタール（1,000ムー）※10ブロックに分かれる。

中国側担当機関：中国国家林業・草原局対外協力プロジェクトセンター、
山東省自然資源庁、
山東省荷澤市単県林業局

<2021 年度実施内容>

- ・約 11.4 ヘクタールの整地及び約 27.4 ヘクタールの植付けを実施し、全植林地にて保育・補植作業を行った。
(樹種：シナトネリコ、ハコヤナギ、ココノエギリ、柳、トウキササゲ)
- ・オンライン報告会（10 月 26 日）
中国国家林業・草原局及び山東省関係機関とオンライン会議を開催し、苗木の生育状況や保育作業の状況等、事業の実施状況について報告を受けるとともに意見交換を行った。

なお、会館が主体となり実施する事業のうち、第三国での植林・植樹事業については、案件候補の検討を行ったものの、2021 年度の実施はなかった。

2. 日本国内での植樹と併せて行う日中両国の青少年等の交流事業（日中両国以外の第三国及び地域の出身者の参加を含む）

2021 年度は、1,160 名（中国 1,120 名、第三国・地域 40 名）の招へい事業の実施を計画したが、すべて実施できなかった。

このうち、2021 年 11 月に計画していた 2021 年度中国大学生友好交流訪日団（地方間交流）について、招へいに代わり、全 4 回のオンライン交流を実施し、中国側 81 名、日本側 72 名が参加した。内訳は下記のとおり。

(1) 2021 年度中国大学生オンライン交流（地方間交流）

	実施日	参加人数		参加者・交流先の構成	協力機関
		中国側	日本側		
福岡県 －江蘇省	11 月 24 日	21	18	江蘇省の大学生／福岡県の大学生（北九州市立大学、福岡工業大学）、福岡県国際局地域課・環境政策課、北九州市環境ミュージアム	中日友好協会 江蘇省人民対外友好協会 福岡県
宮城県 －吉林省	11 月 26 日	20	23	吉林省の大学生／宮城県の大学生（東北大学）、宮城県経済商工観光部国際政策課・水産林政部森林整備課、東北大学災害科学国際研究所、鳴子温泉もりたびの会 他	中日友好協会 吉林省人民対外友好協会 宮城県

埼玉県 －山西省	12月7日	20	18	山西省の大学生／埼玉県の大学生（東洋大学）、埼玉県県民生活部国際課、埼玉県環境科学国際センター、川口市朝日環境センター	中日友好協会 山西省人民対外友好協会 埼玉県
和歌山県 －四川省	12月20日	20	13	四川省の大学生／和歌山県の大学生（和歌山信愛大学）、和歌山県企画部企画政策局国際課、和歌山県土砂災害啓発センター	中日友好協会 四川省人民対外友好協会 和歌山県

友好交流都市提携を結ぶ地域の中国大学生が参加して実施。地方自治体によるブリーフ、環境・防災に関する視察・交流、大学生や市民との交流を通じ、中国大学生は日本の地方レベルの環境・防災に関する取り組みを学んだ。大学生との意見交換のほか、地元の木材を活用したこけしの絵付け体験や防災学習施設のバーチャル見学を行う自治体もあり、参加学生からは将来の訪問を楽しみにする声が聞かれた。

〔Ⅱ〕収益事業

オフィスビル賃貸事業及びホテル運営業務：資産管理部

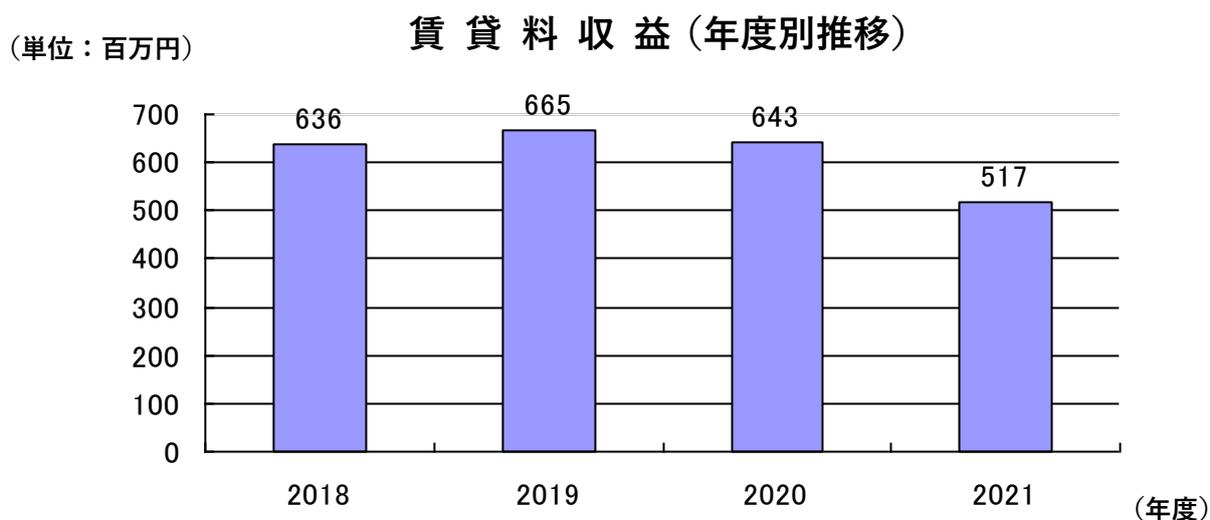
1. オフィスビル賃貸事業（後楽国際ビルディング）

2021年度の賃貸料収益は約517百万円であり、対前年度比で約126百万円の大幅な減少となった。

年度を通して2フロア（1,844㎡、557坪）の空室を埋める事ができなかった事が大きく影響した。

三井不動産がキャンペーンを実施して積極的な営業をかけているが、周辺の不動産市況の悪化もあり、空室が埋められない状況が続いている。

年度末時点のテナントの入居状況は「添付資料①テナント入退去状況一覧表（2022年3月末現在）」をご参照下さい。



※賃貸料収益には、テナント賃料の他、駐車場・駐輪所使用料、大ホール・会議室使用料等の収入が含まれている。

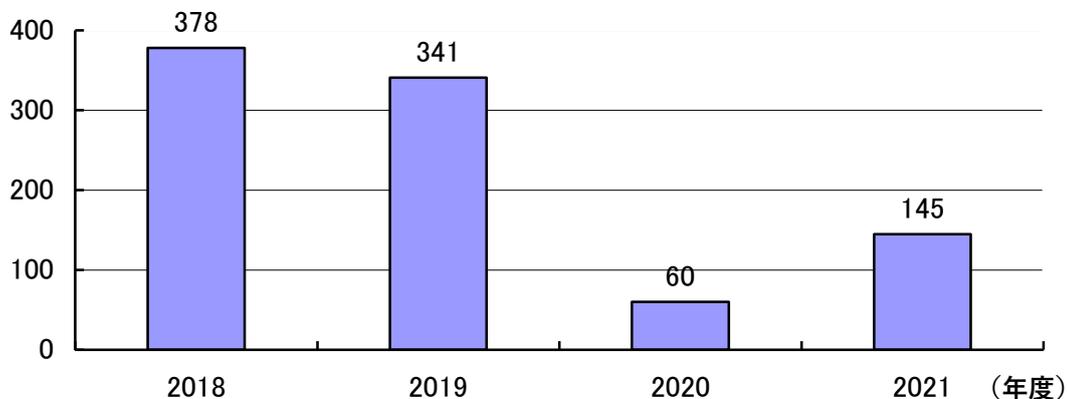
2. ホテル運営業務（後楽ガーデンホテル）

前年度に引き続き、2021年度もコロナ禍の影響を大きく受ける事となった。

売上145百万円、稼働率59.1%、平均単価は4千円台であり、1ヶ月の休業を強いられた前年度よりは向上したものの、依然としてコロナ禍以前には及ばない成績となった。

(単位：百万円)

ホテル室料収益（年度別推移）



※ホテル室料収益には、ホテル客室（149室）の売上に加え、2～3階研修棟（34室）の売上も加算されている。

3. 設備投資計画

設備改修・修繕工事等は設備投資計画書に基づいて実施している。

前年度同様、収益の落ち込みを考慮し、可能な限り工事計画を抑制して実施した。主には下記の工事を実施。

2021年度実績は、添付資料②「2021年度 資金調達及び設備投資計画書 執行状況（実績）」をご参照下さい。

期間中に実施した主な工事は下記の通り。

「設備投資計画書の工事区分 工事項目／実施時期 工事金額（税抜）」

1. 後楽ガーデンホテル

1-①その他建築・機械・電気設備改修工事（内、ホテルシステム改修作業）
／11月 813千円

2. 後楽国際ビルディング

2-①二段駐車部品交換／10月 7,500千円

2-②その他建築・機械・電気設備改修工事

（内、12階南側ファンコイル系統冷温水用二方弁交換工事）／11月 1,700千円

3. 会館施設

3-①会館事務所（内、会館ネットワークセキュリティ強化）／9月 1,530千円

3-②緑風公館（内、中国理事室洗濯水栓改修工事）／9月 560千円

4. 会館収益施設

4-③豫園・馥・楓林・三福（内、店舗区画分割工事）／3月 3,457千円

5. 後楽寮及び研修棟

5-①その他建築・機械・電気設備改修工事（内、ゴミ庫入口鉄扉改修）

／9月 580千円

6. 本館共通

6-②非常用発電機更新工事／5月 26,230千円

6-④駐車場リフト改修工事／6月 7,000千円

7. 別館共通

7-④その他建築・機械・電気設備改修工事（内、コンデンサ更新工事）

／11月 1,100千円

〔Ⅲ〕 その他の事業

1. 会員相互友好事業 : 日中友好後楽会

賛助会員組織「日中友好後楽会」は、会館の施設を活用し中国人留学生と直接交流を行うことで相互理解を深め日中双方の親睦の促進を目的として1989年7月発足(当初の会員は90名)。

① 会員数

2022年3月末現在の会員数は55名、法人会員1社。個人会員は前年度末から7名減少、法人会員は1社減少。近年は会員の高齢化による会員数減少が進んでいるが、入会希望者は随時受け入れるといったスタンスで運営を継続。

② 談話会・会員集会

月例の行事として、談話会・会員集会を原則として月1回開催。4月、8月、12月は、新年度、お盆休み、年末多忙などの理由で休会としている。通例として、談話会は後楽寮生を講師として招き専門分野における研究成果の一端を披露してもらう。大勢の前で話す経験や場を踏むことにより、大学院での研究発表・講評・口頭試問などへの準備として有効なため寮生も積極的であり、また会員からも様々なテーマの講義を聞けると好評である。

本年度の談話会は新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、ほとんど中止となったが、11月のみ開催することができた。また総会も中止となった。

③ 友好バスハイク

年2回、会員と後楽寮生が都内あるいは近郊へ友好ハイキングに出かけている。主に貸切バスを利用し、朝から夕刻まで長時間会員と寮生が行動を共にするため、実りの多い交流・交歓の機会になっている。2021年度も春季、秋季とも新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、中止となった。

④ 中国旅行

年に一度の会員対象の中国旅行は現地在住の元後楽寮生との交流など、後楽会ならではの活動を行っているが、2021年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施を見送ることとなった。

⑤ 会員向け文化講座

現在、月2回、第1、第3木曜日に実施している気功教室と中国画教室は、いずれも専門家の指導の下、長年続いている。

本年度の談話会は新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、11月のみ実施した。

⑥ 観桜会

会館行事として、毎年桜のシーズンに観桜会を催し、中国大使館をはじめ、会館理事・評議員、後楽会会員、後楽寮生を招待している。2021年度の観桜会は3月に予定していたが、

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、中止となった。

2021年度後楽会活動（2021年4月～2022年3月）

日付	催事	参加者数
2021年 5月	春季友好バスハイク 中止	—
5月～10月	談話会・会員集会 中止	—
7月	中国旅行 中止	—
10月	秋季友好バスハイク 中止	—
11月	談話会・会員集会 王蓉二胡演奏会	29 (14)
11月	全体集会 後楽会会員総会（もみじの会） 中止	—
2022年 1月	新春談話会 中止	—
2月	談話会・会員集会 中止	—
3月	観桜会 中止	—

（ ）内は後楽会員数

[IV] 法人の状況

1. 評議員会

開催日時・場所	議 事 事 項
定時評議員会 2021年6月22日（火） 日中友好会館大ホール	議題 第1号議案：令和2（2020）年度 事業報告・計算書類の承認 （2020年4月1日～2021年3月31日） 第2号議案：2021年度事業計画書修正の承認 第3号議案：日中学院学則の一部変更 報告事項 内閣府への変更届出の件
臨時評議員会 2022年3月24日（木） 日中友好会館大ホール	議題 第1号議案：2022年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び 設備投資計画書の承認 第2号議案：2022年度常勤役員報酬案の承認 報告事項 （1）日中国交正常化50周年記念事業について （2）中長期計画の策定について （3）新型コロナ対応について （4）定時評議員会・理事改選スケジュールについて

	<p style="text-align: center;">助成対象事業採択及び助成金額内定の件</p> <p>第 3 号議案：役員損害賠償責任保険加入の件 第 4 号議案：慶弔見舞金規程の改訂 第 5 号議案：嘱託就業規則の改訂 第 6 号議案：参与の待遇及び任期等に関する規程の改訂 第 7 号議案：新参与承認の件</p> <p>報告事項 (1) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告 (2021 年 9 月～11 月)</p>
<p>第 43 回理事会 2022 年 3 月 4 日（金） 日中友好会館大ホール</p>	<p>議題</p> <p>第 1 号議案：2022 年度事業計画書、収支予算書、 資金調達及び設備投資計画書の承認 第 2 号議案：日中学院非常勤講師就業規則の改訂 第 3 号議案：「日中植林・植樹国際連帯事業」助成実施規程の 改訂 第 4 号議案：留学生事業部長委嘱の承認 第 5 号議案：留学生事業部長解嘱の承認 第 6 号議案：臨時評議員会招集の議決</p> <p>報告事項 (1) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告 (2021 年 12 月～2022 年 2 月) (2) 中長期計画の策定について (3) 日中国交正常化 50 周年記念事業について (4) 新型コロナ対応について</p> <p>連絡事項 (1) 2022 年度理事改選スケジュールについて</p>

3. 広報 : 広報チーム

組織横断型の広報チームが各部の意見をとりとまとめ、より有意義な広報を目指して活動。

当会館広報誌として毎月発行していた「会館だより」は、12月号をもって廃刊とし、スピードと広がり重視して、ホームページとメールマガジンにリソースを集中することとした。

12月号までの「会館だより」では、新型コロナ禍で各部の活動が限られた中でも、オンラインを中心に実施された活動の報告掲載や、後楽寮生の活動の様子や後楽寮への支援等の紹介を心掛け、毎号ホームページにも掲載。重点事業については特集記事を組み、実施結果をアピールした。また、後楽寮生によるコラムを継続し、寮生それぞれの留学生活の一端を紹介する企画とした。

会館ホームページは引き続き安定して運営している。「会館だより」廃刊後はさらにタイムリーな情報発信を心掛けている。情報の見やすさ、使いやすさアップのためのホームページリニューアルについては、2022年7月切り替えを目指して作業を進めている。

メールマガジンの発行は、毎月初旬にホームページ掲載記事を主な内容として発行し、送付先拡大のため、各部の関係先を見直し追加した。

また、ホームページ・メールマガジンでは、1月から日中国交正常化50周年記念コラムの掲載を開始した。関係者の協力により、想定よりも多くの原稿が寄せられ、順次掲載していく予定。

また、例年通り活動の総括とし「日中友好会館年報」を2021年8月に発行し、関係先に配布した。

4. 人事異動（副部長以上）

芳賀義也	総務・財務部長	着任（2021年4月1日）
近藤香織	総合交流部部長	昇格（2021年4月1日）
平井美佐子	文化事業部副部長	昇格（2021年4月1日）
小林肇	総務・財務部副部長	着任（2021年5月10日）
加藤啓一	事務局長	離任（2021年6月30日）
荻原芽	事務局長兼総合交流部長	昇格（2021年7月1日）
小川正史	参与	着任（2021年12月3日）
荻原芽	総合交流部長	解職（2022年3月14日）
関立彤	総合交流部長	着任（2022年3月14日）

5. 在籍者（2022年3月31日現在）

	役員		職員				嘱託		臨時職員		派遣職員		出向受入		計	
			管理職		非管理職											
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
役員・事務局長	3		1												4	
	3	0	0	1											3	1
総合交流部			3		9		1				2				15	
			0	3	0	9	1	0			1	1			2	13
留学生事業部			1		2		2				1				6	
			0	1	1	1	2	0			0	1			3	3
文化事業部			1		2		1								4	
			0	1	1	1	1	0							2	2
資産管理部			2												2	
			1	1											1	1
総務財務部			2		4		1				1				8	
			2	0	2	2	1	0			0	1			5	3
その他															0	
															0	0
計	3		10		17		5		0		4		0		39	
	3	0	3	7	4	13	5	0	0	0	1	3	0	0	16	23

※嘱託 管理職 5名

	教員		職員		臨時職員		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
日中学院	54		6		3		63	
	11	43	3	3	0	3	14	49